



高尾の緑

Vol.121

学校法人トヨタ東京整備学園
専門学校

トヨタ東京自動車大学校

Toyota Technical College Tokyo

国土交通大臣指定・文部科学大臣認定
〒193-0944
東京都八王子市館町 2193 番地
TEL 042-663-3211 編集責任者 望月 邦和

祝・入学おめでとう ～夢実現に向けて～



新入生のみなさん入学おめでとうございます。これからは当校のスローガンであります「技術を磨け、そして人間性も」にありますよう、社会人として通用する人間性も身につけ、そして新しい技術も身に付けてほしい。また、上級課程へ進学した学生には、目標をより高く設定し、自ら考えて行動することで、下級生の模範となってもらいたい。トヨタ東京自動車大学校は、夢や希望を叶えようと努力する皆さんを全力で応援する学校です。皆さん、これから我々と一緒に頑張りましょう。

校長 松浪 良樹



MOTOR SPORT JAPAN 2016 Festival in お台場

昨年に引き続き、今年も4月16日・17日の二日間、お台場で開催されたモータースポーツジャパン2016に当校も参加しました！

当校の展示車両は、今年の東京オートサロンでも出展をした『Vitz Rally Garuda (ガルーダ)』と校内イベントでも使用している電動カーの2台！

17日は悪天候のため、残念ながら途中で中止となりましたが、大勢の方に当校のブースまで足を運んでいただきました。また、キッズ向けの体験コーナーも当校のブース内に設置！保護者の方が見守る中、クルマや動物の形をしたキットの組立作業や、簡単なタイヤ交換の作業を体験してもらいました。

こうした機械いじりなどを通して、クルマ好きの子供が一人でも増えることを願います。



技術教育支援プログラム

この4月に高校を卒業してトヨタディーラーに就職した新人エンジニアに学校が教育支援をしています。今回の期間は、1週間ほどでしたが基本をしっかり学んでもらいました。



スペシャル 夏のオープンキャンパス
SPECIAL OPEN CAMPUS 2016 in Summer

この夏、きみのMIRAI(みらい)がココからはじまる！
この夏、トヨタ東京自動車大学校のことをより詳しく知っていただくために、いろいろなプログラムを盛り込んだオープンキャンパスを開催します。是非、奮ってご参加ください！

7月 23(土) 24(日) 25(月)

夏の体験授業
パンフレットだけでは伝えられない、雰囲気を感じ、体感してください！
本校の授業を体験したい方、普段のキャンパスの雰囲気を感じてみたい方のために、スペシャルオープンキャンパスを開催いたします。

集合 10:00 開始 夏の体験授業・施設見学・食べるランチ 14:00 特別体験プログラム

MIRAI&PRIUS 同乗走行体験

OBによる進学相談会
トヨタ販売店の話も聞けるチャンス！

- オフロード同乗体験
- ERK試乗体験
- 板金塗装作業体験

当日先着順

個別相談会も開催！
進学相談会だけでなく学校のカリキュラム、就職についても詳しくお伝えします！

さらに **参加者全員にもれなくプレゼント！**

さらに... 北海道からのフライトツアー 東北・郡山・群馬からのバスツアーも開催決定！
詳しくはホームページやお電話でお問い合わせください♪



学生部・総務部長
高柳 尚之



入学おめでとうございます。入学直後に皆さんに書いていただいた『入学にあたって』を読むと「友人は出来るか？授業に付いていけるか？」はほとんど全員の不安でした。入学から2ヶ月が経ち、これらの不安はほとんど解消され部活やアルバイト、運転免許の取得など忙しくも充実した学校生活を送っていることと思います。

当校ではこの2年間、校内サーキットやスマモ棟、西キャンパスなど施設の充実を図ってきました。また、食堂メニューを一新したり、校内寮の一人部屋新設など食住の充実も図っています。皆さんにはこれらを思う存分活用いただき、卒業の時には、「トヨタ東自大で本当に良かった」と思ってもらえるよう学校は全力でサポートしていきます。皆さんも一日一日を大切に「一所懸命」にがんばってください。

そして後輩や友人・知人に自動車整備士を考えている人がいたら、是非当校を紹介してください。

教育部長
河本 博司



新入生の皆さん、入学おめでとう。
4月に入学式を迎えてから2ヶ月が過ぎました。大勢の友達も出来、学校での生活や通学にも慣れてきたことと思います。

学校での授業は今までとは全く違うし、まだまだ不安は多いでしょうが、心配には及びません。毎日登校し授業に集中し、解らない事は質問していくという当たり前のことをしていけば良いのです。1年次で学ぶ習慣をしっかりと身につけた人は、2年次以降は安心して学校生活を送れることを忘れないで下さい。

またこの学校には沢山の校友会活動やモータースポーツ活動があります。積極的に参加・体験をして学校生活をエンジョイしてくださいね。皆さんの夢の実現に向けて教職員一同、全力で応援していきます。



進級・入学おめでとう!

プロの整備士を目指したい
自動車整備科 冨田 雅也



私は入学する前まで、なんとなく自動車整備士になれれば良いかなという気持ちで高校生活を送っていました。しかし、入学式で校長先生や理事長の話聴いていたら、自分にチャンスが巡ってくる事が分かり、やる気と希望に満ち溢れました。その一方で様々な悩み事も出てきました。人間関係、生活環境、勉強、就職活動など多くの不安を抱えています。しかし、それを乗り越えていきたいです。その為に来る事は第一印象を大切にすることだと思います。販売店などに就職すれば、初対面のお客様と信頼関係を築かなければなりません。「身だしなみ・挨拶・返事」の三つは誰にも負けない事を目標に取り組みます。そして一番大きな悩みであり一番頑張りたい勉強では、日々の授業を大切に予習・復習をして自分の強みになる様に努力していきます。さらに試験で学年一位という結果を出し、将来誰にでも慕われるプロの整備士を目指していきたいです。

入学にあたって
自動車整備科 宮郷 朱璃



私は幼い頃からの夢である整備士になるために2年間当校で学びたいと思い入学しました。実際に今、自動車についての知識も無く自動車は好きだけど何が好きかどんなところが好きかを聞かれるとまだ答えられない状況です。まして、男子ばかりの学校で生活する毎日の不安と、勉強についていけるかという不安、高い学費を払っていている両親の期待に答えられるかという不安で一杯ですが、同時に楽しみでもあります。今までの授業とは違い、1日中自動車の勉強が出来る事、実習で実際に触られる楽しみがあります。まだ学生なので、人間関係や校友会、資格所得やイベントにも参加し様々な事を学んでいきたいと思っています。最終的には2級整備士資格を取得しトヨタ系のディーラーで働きたいです。今まで男性が引っ張ってきてくれたこの業界で少しでも上になれるように努力していきたいと思っています。最後に、通わせてくれた両親、入学にあたって支えてくれた高校の先生に感謝し2年間頑張ります。

今までとの違い
1級自動車科1年 曹 瑋琪



4月7日、この日に私はトヨタ東京自動車大学校に入学して、この学校の一員になり、胸がドキドキしていました。入学してから私の学生生活もいろいろ変化がありました。今まではずっと自転車通学をしていましたが、今は電車やバスを利用して通学しており、片道は一時間位かかっているの、少し大変です。もう一つ変化があったのは、勉強方法です。今言うのはまだ早いですが、日本語学校では“日本語を勉強する。”でしたが、当校では、“日本語で勉強する。”助詞が一つしか変わっていませんが、難易度が大幅アップしました。外国人である私にとっては、とても大変だと思いますが頑張っていきたいです。また、高尾わくわくプロジェクトにも参加して、お互いの関係も深くなりました。これからの学校生活でも皆と協力し後悔しない学校生活にする為に毎日頑張ります！

ボデークラフト科入学にあたって
ボデークラフト科 梁瀬 達成



私はボデークラフト科入学にあたって、2つの目標を決めました。1つ目は、初心に戻って学校生活を送ることです。3年生になったとはいえ、ボデークラフト科で学ぶことは、整備科で学んできたこととは全く違うので、解らない事だらけです。なので、トヨタ東自大に入学した時の気持ちに戻って多くの事を学び、身に付けたいです。2つ目は、常に向上心を持って授業を受ける事です。この1年間で学ぶ事は、作業方法を覚えて終わりではなく、その作業を何回も行い、体で覚えなければなりません。その為、日頃から積極的に作業に取り組み、苦手な作業は繰り返し練習する事で人並み以上に出来る様にし、得意な作業は更に磨きをかけ、更なる応用として上の技術や知識を身に付けて勉強面は勿論、人間性も成長させたいです。また、先日就職試験を行った会社より内定を頂いたので、来年からの事も見据えて充実した最後の学校生活を過ごしたいです。

社会人の一歩手前で・・・
スマートモビリティ科 飯田 史生



スマートモビリティ科生に求められている事、それは「自分で考え、自ら行動する力」です。これは今まで自分に最も足りていなかった部分で、最重要課題と言えます。周囲の人に尻を叩かれてようやく何とかなる、自分だけでは必要最低限の事すら満足に出来ない、その所為で幾度となく苦い思いをしてきました。しかし、このままではこの先訪れる社会人としての生活はとてもやっていけません。一人の大人として、自らの責任の下で行動や意志決定をする必要があります。スマートモビリティ科では、学内の授業だけでなく、学士取得に向けた学習・見聞を広める為の様々な校外活動・種々の資格取得と、取り組むべき内容がぎっしりと詰まっています。逆に考えれば、自ら積極的に動いていく事で、「人間力」を付け、人としての「幅」を広げる絶好のチャンスだと思います。社会に貢献できる人間となるべき、常に意識を高く持って、仲間と共に進んでいきます。

3年生にあたって
1級自動車科3年 植村 武尊



無事、国家2級の登録試験に合格し3年生に進級することが出来ました。2年生の時から「1級の勉強は段違いに難しい」という話を聞いていたので、進級することですごく不安を感じていました。そこで、3年次を頑張るために目標を立てたいと思います。3年次は人間的に大きく成長できるような年に行きたいです。2年次までは職員室への入退時に声が小さいなど甘い部分がありました。これからは上級生として下級生の手本になるのはもちろん、数ヶ月後に控えた就職活動に向け自分のために頑張っていきたいです。また、昨年と同じように様々なイベントに参加していこうと思います。しかしながら、自分なりに努力したつもりでも、なかなか結果が出せず、「参加して良かった」で終わっていました。今年は「参加して良かった」で終わらず、結果を出せるよう、結果にこだわってチャレンジしていくことが大きな目標です。

1年生レクリエーション 「高尾わくわくプロジェクト」



4月10日から「高尾わくわくプロジェクト」が実施され、380名の新入生が参加しました。1泊2日の日程で、「高尾の森わくわくピレッジ」と「高尾山」での野外グループ活動やカレー作りを通して、クラスメイトとの友情を深めるきっかけとなりました。



『信じる 助け合う 協力する』 自動車整備科1年 松永 徹

最も印象に残った事は、プロジェクトアドベンチャー（PA）でのクラスメイトの行動力です。特に、ロープにぶら下って小さな安全地帯に全員が移動するというものでは、初対面の人や国籍の違う人がいても、自分の事を絶対に受け止めてくれると信じて飛び込む事が重要でしたが、仲間と協力しあい、コミュニケーションを取りながら試行錯誤した結果、無事にクリアする事が出来ました。それが出来た理由こそ、全員が進んで協力しあう行動力の結果だと思います。

今回のような素晴らしい経験を活かして、今後も何か困難な出来事が起きた時はPAと同じように協力しあいながら、信頼できる仲間達と一緒に頑張っていきたいと思っています。

「TOYOTA GAZOO Racing 1級専攻科1年 山崎 正蔵 ラリーチャレンジin木曽」参戦記



4月24日に長野県木曽郡木曽町で行われた、「TOYOTA GAZOO Racing ラリーチャレンジ」のC-1クラスに、1000ccのヴィッツで初参戦してきました。初めての参戦で心配もありましたが、当校OBで長年この競技に参戦している永野さん（1級4期卒）に、ラリーの走り方や注意点などを教えて頂き、また、

チームメイトや「コ・ドライバー」（ナビゲーター）の佐藤君（1級自動車科3年）と協力して、無事に完走を果たす事が出来ました。

結果はクラス10位・総合64位でしたが、目標としていた「絶対に完走する」を達成できてとても良かったと思います。これもサポートしてくれたチームメイトのおかげだと思います。

今回のラリーを通して、多くの方々のサポートが無ければとてもラリーは参戦できないと感じ、サポートのありがたさを改めて知る事が出来ました。今回の経験から得たことを、後輩に伝えると共に、モータースポーツの楽しさを多くの人に知って頂けるような活動をしていきたいと思っています。



2016 AUTOBACS SUPER GT Round2 FUJI GT 500km RACE

メカニック&マネージャー 体験記



『スーパーGT メカニック体験』

自動車整備科2年 遠藤 龍人

5月2日、3日に富士スピードウェイで開催された、「2016 スーパーGT第2戦 富士500kmレース」に、当校のモータースポーツアドバイザーであるLEXUS TEAM ZENT CERUMOさんと、メカニック体験をさせて頂きました。

実は、昨年もメカニック体験をさせて頂いたのですが、「もう一度行きたい」という強い思いがあり、今回の参加を希望しました。2回目ということもあり、チームスタッフの皆さんが私の事を覚えていてくれて、非常に嬉しかったと共に、今年はより多くの作業をさせて頂く事が出来ました。

私には、将来レースメカニックをやってみようという夢があり、今回の体験を通してその思いがさらに強くなりました。夢に向かってさらに努力をしていきたいと思っています。



『スーパーGT マネージャー体験』

自動車整備科1年 金 銀玉

スーパーGT第2戦でマネージャー体験をしました。マネージャーはどんな仕事をするのか、何をすればよいのか正直分からない状態での参加でしたが、コミュニケーションが最も重要だと思い、仕事の過程でチームの人が話していることを理解し、自分で何をすれば良いかを考えて仕事をしようと思い組みました。チームのスタッフが、勝利の為に確実に自分の仕事を着々とこなす光景を見て、これこそが成功するプロのチームの仕事だと思いました。

この3日間の体験中に辛いと思ったこともありましたが、とても素晴らしい経験が出来ました。また、セルモのチームの皆様へ会うことができて非常に嬉しい体験でした。



消防避難 訓練



去る4月15日、災害発生に備えて避難訓練が行われました。

訓練は『震度5強』の地震発生後、火災が発生したという想定で実施され、模擬消火訓練も行われました。1000名を超える在校生が全員無事に避難し、消防署の方より学生の取り組み姿勢を高く評価いただきましたが、災害避難の際には、避難の心構え『おかしも』（押さない・駆けない・喋らない・戻らない）を意識して、安全な避難を心掛けましょう。

寮生 サバイバル訓練

当校では、教職員不在時に災害が起きても学生だけで一定期間生活できるように、年に一度新入寮生を対象にサバイバル訓練を実施しています。訓練内容としては防災備蓄倉庫・貯水槽・AEDの所在確認、簡易担架作成・発電機取扱い・アルファ米作りの訓練を実施し、さらに、今回からスマートモビリティ棟のスマートハウスで、停電時でも電気を利用できる事の確認も行いました。皆が真剣に取り組んだことで、充実した訓練となりました。



ボランティア活動 栞田地区地域清掃



青少年対策栞田地区委員会が主催する、平成27年度の「栞田地区地域清掃」が11月21日と3月5日の計2回（7月4日は雨天中止）行われ、のべ84名の学生が参加しました。

学校の近くを流れている「湯殿川」沿いの清掃を担当し、活動中には地域の方々とも交流を持つことができました。

今年度も行われますので、皆さんもぜひ参加して地域社会の環境美化活動に協力していきましょう。

LETTER FROM 卒業生

ネットトヨタ東京株式会社
谷山 弘作さん



私は、平成20年の3月にトヨタ学園（1級自動車科5期）を卒業した谷山と申します。同年、ネットトヨタ東京（株）に入社し、店舗でサービススタッフとして約7年間、整備に携わってきました。

新人の頃は主に、ベテランの先輩と一緒に車検整備を通して、基本的な作業・業務を身に付けました。学生の頃、思い描いていたよりお客様と接する機会が多く、工場での実車での作業以外にも、様々な業務を経験しました。つなぎを着ているので作業だけが出来ればいいというわけではなく、点検整備の提案や、故障・事故の際の対応や、新車への代替等、良きカーライフのサポートをしなくてはなりません。

ただ早く、安い整備・修理なら、他にも沢山の量販店があります。その中で、当社を選び、毎回ご利用して頂く為には、基本7項目・3S精神の順守が不可欠です。

ステップ教育を重ねトヨタ検定1級等を取得し、更なるスキルアップ

のため、そして、自分の経験・技術を試すために、全国ネット店サービス技術コンクールの選手を目指しました。高度な故障診断や、新機構の勉強だけではなく、学生の頃の気持ちに戻り、技術テキスト導入教育編一冊から熟読し、一つ一つの基本的な作業を反復練習しました。

昨年、12月に地区大会を突破し、全国大会へと出場しました。全国より地区を勝ち抜いた精鋭の32社のコンクール選手と、頂点を目指し競技をしました。トヨタ自動車（株）の多治見サービスセンターという、素晴らしい設備・環境の中で、75分の競技に今までの全てを懸けました。結果、残念ながら入賞できなかったですが、一生に一度のかけがえのない経験をしました。会社に就職してからも日々勉強は終わりませんが、学生時代に学んだことはこれから先、全ての礎となります。今、皆さんも整備士としての道を歩みだしています。最高のエンジニア目指して、頑張ってください。

from
相談室



開室日 毎週 火・木曜日
直通電話 042-663-3352
E-mail refre.ttct@gmail.com



「人との付き合い、世間の目、人からの評価」と何かに振り回されて流されていると感じることはありませんか？ 悩み・ストレスの多くは、人が関わり、また人や事象にとられるから悩みが生じるものです。常に人が絡んでいますよね。人は「評価されている」と意識すると、ストレスが生じます。自分でコントロールできる部分がなくなるからです。とあるスポーツライターが有名アスリートにインタビューした時のことです。首位打者争いをしていた時にライバルのその日の成績を伝えました。すると彼は「愚問ですね。彼の打率は僕にはコントロールできませんから。」と答えた。

別のアスリートは打率不振でメディアからかなり厳しく書き立てられた。「気にならないのか。」と聞くと、「気にならないですよ。だって彼らの書くものは僕にはコントロールできないもの。」

つまり自分にコントロールできること、できないことを見極め、分ける。コントロールできないことに関心をもたない。これは誰もが日常生活に取り入れられる生き方だと思います。ストレスが全くなくなることは難しいかもしれない、軽いストレスは、向き合うことで自分のキャパシティをひろげることにもなります。不安・落ち込みが生じるストレスかどうかを見極めて、意識して自分の心を平穩にすることを目標とし、行動してみてください。一人ひとりが自分の心の姿勢に責任を持つことで、ストレスの少ない日常生活を送れるでしょう。でも、心の整理がつかなくなったり疲れたな…と感じたらそういう時には相談室と一緒にモヤモヤの解決の糸口を考えていきましょう！ 待っていますよ。

未来を応援！ こちら就職支援課！

新入生の皆さん、こちらは就職支援課です。文字通り、学生の皆さんの就職活動をサポートする部署です。

やっと学校に慣れた頃なのにもう就職活動の話？ かもしれませんが、就職活動（就活）の時期はすぐにやってきます。その時が来て落ち着いて就活できるよう、いくつかポイントをお伝えしたいと思います。

1つ目は、クルマにかかわる仕事に誇りを持ってほしい。「今のクルマは壊れない」ということはなく、きちんと整備することで快適に使用できるものです。整備士は社会での重要な役割を果たす仕事なのだから、誇りを持って臨んでほしい。そうすれば就活でもしっかりした手応えを得られるはずですよ。2つ目は知識を貪欲に吸収してほしい。与えられた課題をこなしているだけでは勉強は面白くない！ どんどん知識を増やして、ぜひともクルマのマニアになってほしい。自分から積極的に学んで知識や技術のレベルが高くなると、自信を持って自分を売り込むことができるようになります。

3つ目は当たり前ですが、誠実になることです。ニュース等で嘘や言い訳をする場面を見ることがありますが、やはり見苦しいもの。誠実さや真面目さは普段の生活から育ててきます。「磨いた技術に真心（こころ）をこめて」というすばらしい言葉がトヨタにはあります。

とはいえ、新入生は基本1実習が中間地点を越えればOK。遅刻、欠席しないよう、時間と健康管理をしっかりとお願いします。既に遅刻、欠席しちゃった！ という人は再発防止をして元気に登校しましょう。

新職員紹介



羽柴 武志 先生

1月から職員としてお世話になっております。羽柴武志です。今までの社会人生活の大部分をホンダ関連企業で、そのうちの半分が教育の仕事に携わってきました。自動車のメカニズムは日進月歩ですので、学生と一緒に日々進化していきたいと思っております。よろしくお願致します。



川口 貴大 先生

こんにちは。1月より職員としてお世話になっている川口貴大です。私は本校の1級自動車科を卒業後、ネットトヨタ千葉にてサービスエンジニアとして働いていました。その経験を生かして車や整備の楽しさを伝えていきたいと思っております。よろしくお願致します。



木村 賢 先生

今年の1月よりお世話になっている木村賢です。出向という形で2年間限定で教員をさせていただくことになりました。今年入学の自動車整備科46期生と2年後、共に成長し卒業を迎えたいと思っております。よろしくお願致します。



照内 康介 先生

こんにちは。トヨタ自動車から出向しております。照内康介です。私は担任を持たないので学生と接する機会はありませんが、各種イベント等でご一緒する機会もあると思っております。よろしくお願致します。「明るく楽しく元気良く」をモットーに頑張ります！



島山 志保 先生

はじめまして。4月から職員としてお世話になっている島山志保です。3月に本校を卒業したばかりでわからない事も多いですが、学生の頃の経験を生かして精一杯頑張っていきたいと思っております。これからよろしくお願致します。



北林 来望 先生

4月から職員としてお世話になる事となりました北林来望と申します。当校の自動車整備科44期で3月まで学生として過ごしていました。今まで学んだ事を活かし、新しい事をたくさん吸収しながら皆さんと一緒に勉強していきたいと思っております。よろしくお願致します。

Club 校友会紹介

当校ではクラブ活動のことを校友会と呼びます。現在、野球、サッカー、テニス、バスケット、卓球、バレーボール、バドミントンやクロスカントリー、自転車、武道部といった計10のスポーツ系の部活と、手話、モーターサイクル、ラジオコン、自動車研究部など計5の文化・技術系の部活があります。

週1~2回活動するクラブが多く、高校時代の様に厳しい練習をするような部活動では無く、初心者の人でも楽しく活動できるものばかりです。

定期的な大会に参加しているクラブも多く、専門学校の大会やその他各種大会にも出場しています。

クラブ活動をすることで先輩や後輩との繋がりが出来たり、ストレスの発散が出来ます。学園生活をよりエンジョイするために、積極的に参加してはいかがでしょうか？



~多くの寄付を頂きました！~
社会に貢献できる人材育成強化のために！

法人様 ダイハツグループ各社様より 【コベン1台】
(埼玉、東京、千葉、山梨、神奈川)

トヨタカローラ神奈川様より
【V8エンジン1基】

個人様 仲澤 實様

どうも、有難うございました。

